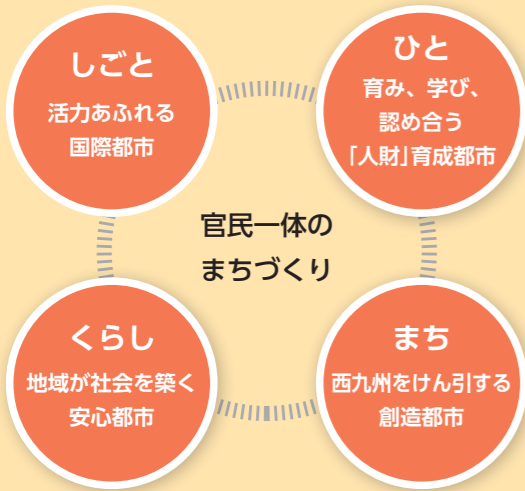


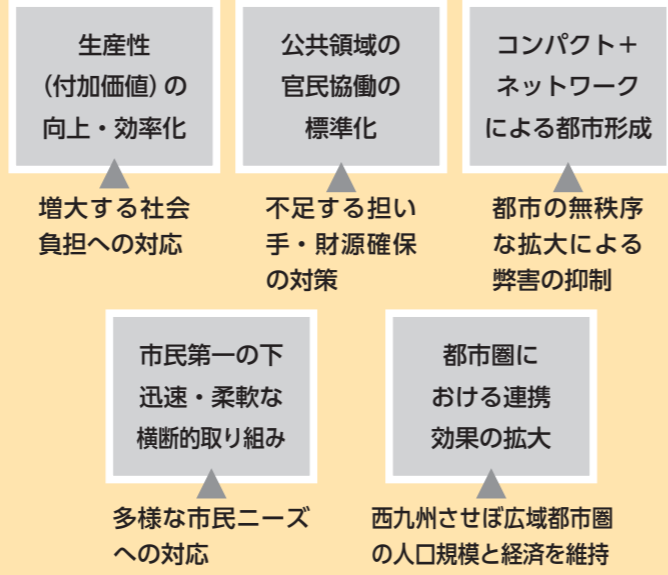
基本理念

挑戦 創造 多様性 共生

目指す4つの都市像



5つの基本原則



目標
(令和9年度)

人口
23万人

市内総生産
7340億円

海風薫り 世界へはばたく"キラっ都" SASEBO



特集
第7次
佐世保市
総合計画

まちづくりの設計図

「総合計画」とは、本市が策定する全ての計画の上位に位置し、事業を行うための基本的な根拠となる計画で、市民の皆さんの「こんなまちに住みたい、こんなまちをつくりたい」を実現する、いわば「まちづくりの設計図」のようなものです。

総合計画では、本市が目指す将来像を達成するために必要な目標や取り組みの方向性などを示しています。第6次総合計画(計画期間:平成20年度~令和元年度)では、「ひと まち 育む "キラっ都" 佐世保~自然とともに市民の元気で輝くまち~」を目指し、さまざまな取り組みを進めてきましたが、目覚ましく変化する社会に対応し、人口減少に歯止めをかけ、持続可能で幸せな社会を実現するため、今回新たに「第7次総合計画」を策定しました。

市民力や地域力を高める

人口減少社会が進み、社会全体の生産力や消費、地域コミュニティ、社会

保障関係費などへの大きな影響が懸念されている中、本市がこうした状況乗り越えるためには、市民の皆さんにもっと佐世保を好きになっていただき、「シビックプライド(市民や都市としての誇り)」を高めることで、一人一人の市民力や地域力を高め、市民力の結集による相乗効果を生み出すことが重要だと考えています。第7次総合計画では、その下支えをするため、地域の価値を高めて地域社会全体を支え、都市として成長していくための政策を進めていきます。

しごと、ひと、まち、暮らし 将来像を示す4つの都市像

第7次総合計画では、本市が持つ可能性を形にし、国内だけでなく世界へはばたくことをイメージして、「海風薫り 世界へはばたく"キラっ都" SASEBO」を目指すべき将来像としています。

その実現に必要な考え方として、「挑戦」「創造」「多様性」「共生」を基本理念

に掲げ、「しごと」=活力あふれる国際都市、「ひと」=育み、学び、認め合う「人財」育成都市、「まち」=西九州をけん引する創造都市、「暮らし」=地域が社会を築く安心都市の4つの都市像に分け、さらに行政の成果に重点を置く「行政経営」がこれらを下支えしていき、官民一体のまちづくりを行っていき、戦略的に将来像を実現していきます。

政策に共通する5つの基本原則

第7次総合計画では、令和9年度までに人口23万人、市内総生産7340億円を維持していくことを目標としており、これらを実現するために全ての政策に共通する5つの基本原則(上図)を示しています。

これらを踏まえながら行政運営を行っていき、「しごと」と「ひと」が相互に循環し、新たな人の流れが生まれ、「まち」が活力を取り戻し、「暮らし」やすいまちをつくることができると考えています。

4月から新たにスタートする「第7次佐世保市総合計画」。まちづくりの設計図とも言える総合計画には、本市の目標や取り組みの方向性、行政と市民の皆さんの役割に関する基本的な考え方などが示されています。新たな総合計画では、「挑戦」「創造」「多様性」「共生」を基本理念に、本市の持つ可能性を形にし、世界へはばたくことをイメージして、「海風薫り 世界へはばたく"キラっ都" SASEBO」を目指すべき将来像としています。今回の特集では、この総合計画の概要や「しごと」「ひと」「まち」「暮らし」の4つの分野における主な取り組み、目標数値などを紹介します。総合計画の全文など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

育み、学び、認め合う「人財」育成

「ひと」の分野では、学力、体力、豊かな心、共感力などの育成に重きを置き、学校、幼児教育・保育施設、家庭、地域、企業、行政の連携を強化して、心豊かな人を育む「子育てしやすいまちづくり」を目指します。

子ども未来政策



子どもが一人の人格として尊重され、最善の利益を享受しながら、健やかに成長できるようにします。

政策の目標

- ・合計特殊出生率の向上
 - ・子ども女性比※の向上
- ※ 15～49歳女性人口に対する0～4歳人口(男女計)の比。

主な取り組み

1 母子保健の推進と安心な育児環境の充実

保護者が安心して妊娠・出産・子育てができ、子どもが健やかに成長できるようにします

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
乳幼児健康診査受診率	95.4%	96.0%
乳幼児福祉医療費受給資格の認定率	99.2%	100.0%

2 地域での子どもと子育ての支援

子育て家庭が地域で支えられながら楽しく子育てできるようにします

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
地域子ども・子育て支援事業の平均利用回数	37.3回	50回

教育政策



学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて自らが学び、文化やスポーツなどに親しむことができる環境を充実させ、生きがい満ちた暮らしを実現します。

政策の目標

- ・市民の生涯学習に関わる機会の増加

主な取り組み

1 学校教育の充実

児童・生徒が、夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身に付け、変化の激しいこれからの社会を主体的・創造的に生き抜くことができるよう、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実を図ります

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
全国学力調査結果 ※①	95.0%	100.0%
全国体力・運動能力調査結果 ※②	98.3%	100.0%
全国学習状況調査児童生徒質問紙結果 ※③	100.4%	102.0%

※①②本市平均正答率(得点)を全国平均で除して算出③当該調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いに対する肯定値で、本市平均を全国平均で除して算出。

市民や事業者の皆さんと協力・連携したまちづくり

総合計画は、行政だけの計画ではなく、市民や関係団体、事業者などさまざまな立場の皆さんと話し合い、目的を共有して共に取り組んでいく方向性を記載しています。市民の皆さんが安全で安心して生きがいと幸せを実感できる

暮らしを送るためには、本市が守り築き上げてきた自然や歴史、文化などの共有の財産を生かしながら、行政・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を自覚し、お互いに協力、連携してまちづくりを進めていくことが必要です。



活力あふれる国際都市

「しごと」の分野では、地域の特性を生かした産業振興や幅広い年代の雇用増大と多様化を進め、これからの情報社会に対応できる「豊かで元気なまちづくり」を目指します。また、活力ある産業を育成し、中長期的に国際競争を勝ち抜く産業づくりを目指します。

観光商工政策

将来にわたって活力ある地域社会を支える地場産業を支援し、地域資源を生かした産業づくりと交流人口の拡大を進め、活力とにぎわいあふれるまちづくりを進めます。

政策の目標

- ・市内総生産(第2次、第3次産業)の維持

主な取り組み

1 観光の振興



国内外の多くの観光客が本市の魅力を感じ、観光消費によって地域経済の活性化を目指します

KPI ※	現状値 (H30)	目標値 (R5)
観光消費額	95,699百万円	114,426百万円

2 地場企業の振興



地場企業の経営基盤の安定と強化を進め、市民が安定して働くことができる環境を整えることで、地域経済の活性化を目指します

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
利益を上げた企業の割合	45.0%	47.8%

農林水産政策

地域の特色を生かした「産品」と元気な「担い手」の育成による農林水産業の活性化を目指します。

政策の目標

- ・市内総生産(第1次産業)の維持

主な取り組み

1 農林業の振興

儲かる仕組みをつくり、人を呼び込む農林業を実現します

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
新規就農者数	11人	11人
認定農業者(1人当たりの生産額)	2,088万円	2,257万円
農山村の持つ地域資源の維持・継承面積	1,531ha	1,531ha

2 水産業の振興

儲かる仕組みをつくり、人を呼び込む水産業を実現します

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
新規就業者数	12人	12人
漁業者1人当たりの漁獲高	1,185万円	1,296万円



企業立地政策

製造業やオフィス系企業など、魅力ある雇用を生み出す企業立地を実現し、市外への人口流出抑制(特に若年層)とUJIターンによる流入増加を目指します

政策の目標

- ・就職率の維持

主な取り組み

1 企業立地の推進

新たな企業が立地し、立地企業がさらなる投資を行うことで、魅力ある雇用環境を創出・拡大します

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
立地企業の新規雇用計画人数(平成18年度からの累計)	3,051人	3,600人

地域が社会を築く安心都市

「くらし」の分野では、豊かな魅力を創出し、定住・移住したくなる「魅力あるまちづくり」を目指します。また、医療・福祉を充実させ、健康寿命を延ばすために施設や地域、職場などが共に連携し、健康で安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を目指します。

市民生活政策



地域コミュニティの活性化や人を大切に支え合う仕組みづくりを進め、交通事故や消費者被害に遭わない環境整備を充実させ、誰もがいつまでも安全・安心で快適に暮らせる市民生活を実現します。

政策の目標

- ・暮らしの安全・安心の向上

主な取り組み

1 地域コミュニティの活性化の推進

地域コミュニティの活性化を継続的、計画的に推進し、市民等がお互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会を実現します

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
町内会加入率	82.4%	82.4%
地区自治協議会の活動への参加者数	107,001人	112,350人

保健福祉政策



健康を支える環境や地域医療の体制など、保健・医療・福祉サービスを総合的に提供できる体制をつくり、地域共生社会を目指して誰もが共に支え合い、健やかに安心して暮らせるまちづくりを目指します。

政策の目標

- ・平均寿命に対する健康自立度の向上

主な取り組み

1 健康づくりの推進

市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組み、健康寿命を延ばします

KPI	現状値 (H29)	目標値 (R5)
平均自立期間 ※ (男性)	78.96年	80.50年
(女性)	83.74年	84.19年

※日常生活動作が自立している期間の平均。

消防政策

火災や自然災害、救急・救助に迅速かつ確に対応し、火災予防対策を進めることで、住む人と佐世保を訪れる人たちの安全・安心を守ります。

政策の目標

- ・火災被害の軽減
- ・救急搬送の生存率向上

主な取り組み

1 火災や自然災害対策の推進

市民の生命を火災や自然災害から守ります

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
消防隊の出動から放水開始までの時間	6.4分	6.0分
人口千人当たりの消防団員数	6.9人	7.0人

防災危機管理政策

災害や緊急事態から市民の生命や財産を守り、防災関係機関と連携して、被害を最小限に抑える環境・体制を整え、災害や緊急事態に強いまちを目指します。

政策の目標

- ・災害死者0人

主な取り組み

1 災害や緊急事態に対応できる体制の充実強化

災害や緊急事態に迅速・的確に対応し、市民の生命や財産を守ります

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
地域型防災訓練実施率	18%	100%

西九州をけん引する創造都市

「まち」の分野では、少子高齢化・人口減少社会に対応した、将来を見据えた計画的なまちづくりを進めます。また、安全安心で快適な生活を守り、多様な交流を支えるまちづくりを進めるため、「地域につながるまちづくり」を目指します。

都市政策

居住や都市機能の集積によって、住民の生活利便性の維持・向上、生産性向上による地域経済の活性化や、行政サービスの効率化などを図ります。

政策の目標

- ・都市部における人口密度の維持

主な取り組み

1 居住誘導の推進

「佐世保市都市計画マスタープラン」などのまちづくり計画によって、適正に都市部への居住誘導を図ります

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
市街化区域内の人口密度	44.5人/ha	43.7人/ha

水道政策

公営企業として経済性を発揮し、清浄で豊富低廉な水の供給および下水道の整備を通じて、公衆衛生の向上と生活環境の改善、都市の健全な発達に寄与します

政策の目標

- ・水の安定供給日数の向上
- ・公共下水道の普及率向上

主な取り組み

1 水の安定供給の推進

安全安心な水を安定して供給します

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
基幹管路の事故発生割合	2.1件/100km	2件/100km

土木政策

拠点間の連絡強化や市民の日常生活、地域経済活動を支える道路ネットワークを充実させ、西九州させぼ広域都市圏の中核として活力あるまちづくりを行います。また、激甚化・頻発化する自然災害などから市民の安全を守るための社会インフラの整備や災害の危険箇所を周知し、安全で安心なまちを築きます。

政策の目標

- ・道路アクセスの向上
- ・道路施設の老朽化に伴う事故死者数0人
- ・水害・土砂災害による死者0人

主な取り組み

1 暮らしと成長を支える道路ネットワークの充実

広域的な移動や市民の日常生活を支える道路ネットワークの強化によって移動を円滑にし、安全で快適な道路環境を維持します

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
道路整備プログラムによって課題が解決された箇所数	0カ所	82カ所
健全性診断区分IV(最も悪い[緊急措置段階])の道路施設数	5カ所	0カ所

環境政策

廃棄物の適正処理による生活環境の保全や公衆衛生の向上とともに、環境に良い行動に自ら取り組む「環境市民」を育成し、持続可能な循環型のまちづくりを行います。

政策の目標

- ・温室効果ガス削減率の向上

主な取り組み

1 環境保全活動の推進

市民や事業者による環境に配慮した行動の実践を通して良好な環境を保全します

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
1世帯当たり年間電力消費量	5,778 kWh	5,505 kWh
環境基準達成率	100%	100%

港湾政策

佐世保港の環境保全に配慮しながら計画的に整備や適正管理、利用促進を行い、港湾を適正に利用・保全します

政策の目標

- ・佐世保港を利用する船舶の増加

主な取り組み

1 人流と物流を支えるみなとづくり

人流や物流の活性化によるみなとの振興を図るため、港湾施設の確保や利用を促進します

KPI	現状値 (H30)	目標値 (R5)
クルーズ客船による乗降人員数	466,010人	1,686,000人